



KYOUNAN

VISION BOOK

自らの人生をすすんで楽しむ人に



境南小の基本方針と特色ある取組

| 基本方針 |

主体的に取り組む子の育成

人と人とのかかわりを大切に、高め合う子の育成

⇒学校、地域、保護者と連携し、地域に開かれた本物の学びをつくる

はじめに・授業改善……………1

スタートカリキュラム……………2

武蔵野市民科の充実……………3

自主学習の取組……………5

児童主体の学校行事/自治的な活動…6

新たに取り組むもの……………7



- ◎よく考える子
- ◎進んで取り組む子
- やさしい子
- 元気な子



はじめに

境南小学校では、「自らの人生をすすんで楽しむ人」を目指し、児童が主体的に学習に取り組み、人と人とのかかわりを通して、互いに高め合いながらこれからの社会を生きるための資質・能力を伸ばせるように様々な教育活動に取り組んでいます。

この冊子を通して、特色ある教育活動について地域や保護者の皆様にも知っていただき、地域や保護者の方と共に境南小の教育をつくっていきたいと思います。今年度もご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



授業改善

児童が
目的意識をもち
自己決定できる
環境づくり

●教師がやることを決めてやらせる指導ではなく、教師が「どうしたい?」「そのためにどうする?」と問い掛け、児童が学習の目的や解決の方法を決められるような指導を行っています。



自分で決めることで、責任をもって行うことや自分の意見をしっかりと伝えて活動することができるようになった!

ICTの活用

●①学習に関係することに使う。②人を傷つける様なことはしない。という2つの決まりを基に、目的に応じてICTを文房具のようにいつでも活用できる環境づくりや言葉掛けをしています。

調べたいときにすぐ調べる習慣がついた。共同編集で友達と効率よく作業を進めることができた!



一部
教科担任制

●より児童の力が伸びる授業づくりを行うことや、多くの目で児童のよさや課題を共有・理解し指導に生かしていくために、一部教科担任制を行っています。

学年全員の先生と関わることができ、それぞれの教科の面白味や学びがより深まった。





スタートカリキュラム



多様な環境で育ってきた児童がスムーズに学校生活に適応し、教科等の学習に円滑に接続できるようにするためにスタートカリキュラムを推進しています。

スタートカリキュラムって？

「学校に入学した子どもが幼稚園・保育園・認定こども園などの、遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活をつくり出していくためのカリキュラム(「スタートカリキュラム スタートブック」平成27年度文部科学省)」のことです。

つまり学校は、

児童が今まで培ってきたものを存分に発揮できるように支えます！

具体的にはどんなこと？

遊びや生活から

児童の「やってみたい！知りたい！」に耳を傾け、児童の遊びや児童の言葉を大切にしながら学習を進めます。



柔軟な時間配分

児童の活動を時間で区切るのではなく、幼保子※のように自分のペースでゆったりと活動できるような時間配分にします。

※幼保子...幼稚園・保育園・認定こども園等

児童とつくりあげる

様々なきまりを教師が決めるのではなく、疑問や問題が起きたときには「みんなはどう思う？」「幼保子ではどうだった？」と投げ掛け、みんなで解決していきます。

環境整備

教師が幼保子での環境を知り、小学校でも過ごしやすい環境をつくります。児童が「自分でできる」環境をつくっていきます。



連携などはしているの？

4月下旬：幼保子小教員による大人の「幼保子小」交流会①

夏休み中：小学校教員による近隣幼保子園見学（R5年度は8園）

1月中旬：大人の「幼保子小」交流会②

2月中旬：小学校教員による新1年生に関する情報交換

境南フェスティバルで地域の幼保子の子どもが参加・見学

※幼児教育から小学校教育への接続をより円滑にするために、相互理解を図ることを大切にしています。

園児と児童、教員同士の交流回数を増やし、互いを学び、情報交換を行っています！





武蔵野市民科の充実

*武蔵野市民科は全ての教育活動に関わりますが、生活科・総合的な学習の時間が軸となる取組です。

境南小学校では、武蔵野市民科で目指す、「主体的に学び、くらしをよりよくする子」を育てるために児童が目的に向かって自己決定を繰り返す学習活動を大切にしています。

武蔵野市民科って？



子どもの思いや願いに
基づく学習活動



●保護者ボランティア

校外学習等で大人の見守りが必要な際、ボランティアでご協力くださる保護者の方を募ってお手伝いをしています。「子どもの取組が知れてよかった」「自分自身も地域のことがよく分かった」と感想をいただきました。いつもありがとうございます。

●教師による地域挨拶めぐり
年2回、よりよい授業作りのため境南町の魅力的な学習材を探したり、お世話になっている地域の方々にご挨拶をして、日頃の感謝をお伝えしたりしています。

地域と連携し、実社会と
つながる本物の学び



探究的な学習を
展開できる単元作り



具体的にはどんなこと？



▶いきものとなかよし(1年生)

「生き物を元気に育てたい」という子どもの思いを基に、生き物にとって好ましいすみかを考えて工夫する飼育活動に取り組みました。活動の過程では「バッタはエノコログサが好きです」や「ダンゴムシは湿った場所にいます」等、自身の気づきを「生き物マップ」に表して交流することができました。このような活動により、考え表現する力や、生き物への愛着が高まりました。



▶もっともっとまちたんけん(2年生)

「店の魅力を調べたい」という子どもの思いから、行きたい店や施設に分かれ、インタビューを行いました。1回目の訪問では商品や営業時間など「もの」について考え、2回目の訪問では、そこで働く人々の思いに気付くことができました。訪問する目的をその都度考えることで、「もの」だけでなく、「人」について感じる事ができ、自分たちの生活には様々な人々が関わっていることに気付くことができました。



▶ パン作りをして町の人を笑顔にしよう(3-2)

「1年間、みんなで楽しめて、やりがいがあること」という思いから、子どもたち一人一人の意見を尊重し、パン作りをし、パンを食べた人を笑顔にしたいということで活動をスタートさせました。パンを作り始める前にクッキー作りをして、できた達成感を味わい、難しいパン作りに挑戦しました。1回目のパン作りでは、とても固く、食べにくいという反省が挙がりました。2回目の改善点として、発酵や生地をこねる時間を長くすることで、最後にはふわふわで美味しいパンを作ることができました。そして、クラウンベーカー武蔵境店でオリジナルパンを売っていただき、買った人の笑顔を見たり気持ちを聞いたりすることができました。



▶ 境南町のみんなのために(4-1)

「みんなが楽しく、笑顔になるような活動がしたい！」という思いから、「まずは境南小学校をきれいにしよう！」と掃除活動を始めました。ドアのレールや廊下の壁、非常階段に学校の外壁など、「ここがきれいになるといいな」という学校のみんなの願いを叶えようと掃除方法を調べ、試行錯誤しながら一生懸命に掃除をしました。「きれいになると気持ちがいい」「いろんな人が喜んでくれてうれしい」と、そうじの楽しさや人のために働くことのよさを実感することができました。



▶ フリーペーパーで人と人をつなげよう(5-2)

「まずは、自分たちが境南町の魅力を発見しよう！」と地域探検に出掛け、お店の方へのインタビュー活動を行いました。疑問や気付きを基に「5年2組が紹介したい、施設・お店の記事を載せたiisakaiiを発行し、たくさんの人に読んでもらおう！」と目標を立てました。編集のプロから「子ども目線で取材をして、子どもだからこそ伝えられる内容を考えよう」と助言をもらい、何度もお店へ取材に行くことで、働く方の思いやお店・施設の魅力を知ることができました。たくさんの方に支えられて完成したiisakaii 36号を手にとった子どもたちの喜びや達成感は、とても大きなものとなりました。



▶ おみやげで境の魅力発信！～プロジェクトS～(6-2)

「もっと武蔵境の魅力を多くの人に伝えたい！」「自分たちだからこそできることをしたい！」という思いからスタートした「こども版おみやげ手帳」づくり。商品の選定、取材、パンフレットのレイアウトなど、プロの方に助言を受けながら作りました。活動を通して、地域への関心が一層高まると共に、地域の方々の多くの支援があったからこそ出来上がったと感謝の気持ちをもちました。



▶ おいしいみそ汁をつくろう！(けやき学級)

畑で育てた野菜を使って、おいしいみそ汁を作り、お世話になっている先生方、用務主事の方、お家の方に食べてもらいたいと頑張りました。出汁やそのみ試飲を行い、それぞれに香りや味が違うことに気付きました。校内の栄養士、家庭科の教師からのアドバイスを受けながら、繰り返しみそ汁を作っていくうちに、味や見た目も満足いくものが完成しました。最後は、みそ汁パーティーを開き、感謝の気持ちを伝えることができました。



自主学習(家庭学習含む)の取組

基本的な考え方

主体的に学ぶことができる力を育てるために、小学校6年間の自主学習を通して「**自分に必要な学びを自分で決めてできる子**」を目指す。その実現に向け、段階的かつ組織的な手だてを行い、家庭と連携して取り組む。



* 学習内容の習得を目指すドリル類は、学校で取り組めるようにしています。

学校での取組

※どの段階でも課題の提出は強制しません。

成長の段階	できた楽しさを味わいながら習慣を作る	学びを広げ、学習を決める体験をする	学び方をさらに広げ、自分で決める	学びを振り返り、必要な学びを決める
段階	1年生(4月)～1年生(10月)	1年生(11月)～2年生	3年生～4年生	5年生～6年生
児童の取組	基本の音読、漢字、計算について毎日課題(予定表)を見て取り組む。取り組んだことは出す。	計画表を使い、自分の学びを家庭と話し合っ て決め、取り組む。計画表と取り組んだものは出す。	自分で計画を立て、やることを決めて取り組む。計画表と取り組んだものは出す。	振り返りを基に計画を立て、取り組む。取り組んだものは出す。
段階毎の取組	基本の学び方を朝学習、授業等で指導し、課題を出す。 児童の頑張りを積極的に認め、楽しんで取り組めるようにする。	基本の学び方以外の学習の仕方や計画表の使い方を指導する。 子どもが決めた取組を積極的に認め、新しい取組が広がるように価値付け、学級へ広げる。	朝学習や授業等で計画を決める時間を確保する。 調べ学習(自学ノートやクロームブックの活用)等学び方を紹介し、広げる。	目標や見通しがもてるよう支援する。(スケジュール・声掛け) 学び方を振り返る機会をつくる。
共通の取組	自主学習で取り組んだものや計画表は集める。(提出は強制しない、提出状況や内容は通知表の評価に入れない。) 自主学習での良い取組や頑張りは価値付けを行い、学級全体へ広げる。 Googleカレンダーに週予定、テスト予定や課題提出日等を載せ、学習の見通しをもてるようにする。 必要に応じて、本人、保護者と連携して個別の課題に取り組めるようにする。			

家庭では何をすればいいの？



ご家庭では、お子様に合った自主学習と一緒に探すサポートをお願いします。計画表(予定表)やGoogleカレンダーを参考に、お子様に必要な学びをお子様との対話を通して決め、取り組めるとよいです。(ご家庭で取り組んだものの丸付け等はご家庭にてお願いいたします。)

また、「自分で必要な学びを自分で決めてできる子」に向け、ぜひお子様の取組への前向きな声掛けをお願いいたします。ご家庭での頑張りが計画表のメモ欄等で伝えていただければ学校でもお子様に伝え、家庭と学校の両方で自分で決めて学ぶよさをお子様を感じられるようにしていきます。

ご不安な点がありましたらいつでも担任・学校にご連絡ください。家庭と学校が連携し、お子様の成長を支えていけたらと思います。



児童主体の学校行事・自治的な活動

授業だけでなく、行事や委員会、学校生活などでも児童の主体性を伸ばせるような環境づくりを行っています。

児童の主体性を
¥ 大切にしたい体育的行事 /

運動会



● 運営にも児童が参画

目的や条件を提示し、この中でどんなことができそうかな？と、やりたいことや必要なものを児童に投げ掛け、開会式の演出や係活動など、児童と共に考えました！

● 自分で出たい種目を決める、種目選択制

「運動が苦手な子も楽しめるようにしたい」「盛り上がって一致団結できるものにしたい」という児童の思いから、実行委員を中心に種目を考え、児童が取り組みたい種目を選択できるようにしました。

● 運動会に向けた児童主体の係活動

R5年度は、新たに進行係の寸劇や、盛り上げ係の競技間MCなど児童のアイデアを生かした運動会の係活動を行いました。

学校・家庭・地域が
¥ 一体となり児童の主体性を育む /

境南 フェスティバル



● 「発表したい・伝えたい」ものを児童が選択

総合的な学習の時間・生活科・国語科・クラブ活動での取組など、児童が「発表したい、伝えたい！」と思ったことを発表できる行事です。参観した保護者の方からは、「どのブースも見応えがあった！」「主体的に活動に取り組む児童の姿がたくさん見られて嬉しかった」といった感想をもらいました。

● お世話になっている地域や保護者の方も出展・出演

日頃お世話になっている地域の方々に「こんなことをしてほしい！」という児童の思いから、多数の保護者や地域の方にも出展・出演していただきました。

委員会やクラブ活動
¥ 児童の主体的な活動は様々

その他

● 児童の中에서도見通しをもって行動する姿が定着してきました。今後も、児童の様子を見守り、課題があるときは一緒に解決策を考えることを通して、児童が自分で考えて行動できる力を伸ばしていきます。

ノー
チャイム



3時間目は教室移動があるから、遊ぶのを早めに切り上げよう！

チャイムが鳴らないから、遅れないようにみんなに声を掛けるといいかも！

みんなはどうする？

授業開始は〇分からです。



来年度、どんな委員会やクラブがあったらいいかな？

クラブ
委員会

学校生活にあったらみんなが過ごしやすくなるよね。



〇〇委員会はどう？

こんなクラブがあったら楽しそう！



新たに取り組むもの

教師がすすんで地域や保護者の方に学校の取組を発信することを通して、教育活動をご理解いただき、地域や保護者とともに児童を育てていく環境をつくっていきます。

対話や関わりを大切にした家庭との連携

ご家庭との対話や関わりを大切に、ともに連携して教育を行うことを通して、児童がより自分の力を伸ばせるような環境づくりを目指していきます。

年2回の個人面談の実施

- 令和6年度は1・2学期の通知表の所見欄に替えて、夏休み中と2学期末に個人面談を実施致します。
- 継続した個人面談を行うことで、児童のよさや課題をより具体的に伝えることができますようにします。
- 3学期の所見欄では年間を通した児童のよさを伝えられるようにします。



毎学期の学校公開

- 各学期に2日以上学校公開の機会をつくり、児童や学級の様子をご家庭と共有できるようにします。
- 年間通して全曜日を公開できるようにし、専科や教科担任等全教科を見ていただけるようにします。



伝わる保護者会

- 令和5年度は1～3年と4～6年けやきの2回に分けて実施だったものを低けやき・中・高の3回に分けて実施することで、兄弟関係があるご家庭も参加しやすくします。
- 保護者会で伝える内容はなるべく書面にまとめ、対面で学級や児童の様子を直接伝えたり、保護者間の情報共有ができるようにしたりします。

異学年交流の充実

異学年で関わり合う縦割り班活動

- 今まで行っていた2学年での交流活動であるなかよし班を1～6年の縦割りでの活動に変えます。
- 様々な学年が関わることを通して、人間関係の形成やみんなで楽しいことをつくってこうという態度を伸ばしていきます。
- 縦割り班活動だけでなく、行事や各種集会、給食等でも関わりをもち、境南小全体で一体感をもって活動の満足感や充実感を感じられるようにします。



開かれた学校づくり

開かれた学校づくり協議会モデル校

- 令和5年度より、境南小学校は、武蔵野市の「開かれた学校づくり協議会」のモデル校に指定され、令和6年度は2年目を迎えます。開かれた学校づくり協議会の委員の皆さんと一緒にさらに地域と連携した学校作りを進めていきます。



研究奨励校研究発表会

- 令和5年度より、境南小学校は市の研究奨励校として「生活科・総合的な学習の時間」を中心とした研究を行っており、令和6年の11月には、研究の成果を市内外に発表します。当日の授業は、保護者にも公開予定です。

研究発表会

日時:11月26日(火)
場所:境南小学校

